

各関係機関の長 殿

山形大学大学院医学系研究科長

永瀬 智

(公印省略)

山形大学大学院医学系研究科医学専攻病理診断学  
講座担当助教候補者の推薦について (依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび本研究科病理診断学講座では、下記のとおり教員を公募しておりましたが、適任者を広く求めるため再公募することとなりました。つきましては、貴職関係者にご周知いただくとともに、適任者がおられましたらご推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹言

記

- 1 所 属 病理診断学講座
- 2 職種及び人員 助教 1人
- 3 採用予定年月日 採用者と相談の上決定
- 4 職務内容  
病理診断学講座における病理診断・解剖、ならびに教育・研究
- 5 応募資格  
(1) 病理診断の経験がある方 (病理専門医資格を有している方が望ましい)  
(2) 病理解剖執刀経験と剖検報告書作成の経験がある方  
(3) 博士号取得は問わないが、原著論文を書く意欲のある方

6 待遇等

採用時にテニュア審査が行われ、可とされた場合は、採用時から直ちにテニュア取得となります (テニュアトラック制度※)。採用時審査で不可となった場合は、テニュアトラックとして任期は5年間となり、3年目もしくは5年目に学内規程に基づくテニュア審査が行われ、可とされた場合にはテニュアが付与されます。

※本学のテニュアトラック制度については、下記をご参照ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/>

<https://www2.id.yamagata-u.ac.jp/recruit/>

(1) 給与

国立大学法人山形大学年俸制（Ⅱ）適用職員給与規程による年俸制  
経験等を考慮し、基本年俸を決定します。

(2) 保険

文部科学省共済組合（健康保険・厚生年金）、雇用保険、労災保険

7 試用期間 6か月

8 提出書類

- (1) 履歴書（別紙様式1） PDFファイル1部
- (2) 業績目録（別紙様式2） Excelファイル1部
- (3) 病理解剖の執刀数の記載と剖検報告書のコピー 書式自由  
（剖検に関する個人情報は黒塗りにするか、削除した形にしてください）

9 公募締切日 令和6年8月30日（金）必着

10 面接及びプレゼンテーション 日時はおってお知らせします。

11 書類提出先

下記まで提出書類電子ファイルをメール添付にてお送り下さい。

〒990-9585

山形市飯田西二丁目2-2

山形大学大学院医学系研究科医学専攻病理診断学講座

二口 充 宛

E-mail: futakuch@med.id.yamagata-u.ac.jp

12 問い合わせ先 書類提出先に同じ。

13 その他

- (1) 山形大学では、男女共同参画の推進とワークライフバランスの実現に取り組んでいます。保育支援制度が整っており、医学部には、保育所・病児保育室が設けられ、子育て支援が充実しています。また、ダイバーシティ研究環境実現のために、女性研究者の活躍を支援する制度（研究継続支援員制度や学会参加時の保育支援制度など）も整えています。詳細については、下記URLをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室：

<https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/>

- (2) 学生に対する性暴力等を原因とする懲戒処分歴がある場合は、その具体的な事由を応募の際に必ず申告してください。なお、当該事実が後日判明した場合は、経歴詐称による採用取消、懲戒解雇等の対象となる場合があります。



氏名:

[原著]・[症例報告]・[総説]・[国際学会のProceeding]

著者名	論文タイトル	ジャーナル名(巻・頁・年)	著者区分	責任著者の有無	インパクトファクター	ランク
1 Yamagata T, Beniya H, Sagae M	Malignant Clinical features of anaplastic gliomas without IDH mutation	Neuro Oncol 17 136-144 2019	◎	●	9.0000	Q1
(oooooooooooooooooooooooooooo, ooooooooooooooooooooooooooooo, ooo.)						
2 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S	Angiographic circulation time and cerebral blood flow during balloon test occlusion of the internal carotid artery	J Cereb Blood Flow Metab 34 136-43 2018	◎		5.4900	Q1
3 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M	Risk assessment for venous thromboembolism in patients with neuroepithelial tumors : pretreatment score to identify high risk patients	Neurol Med Chir(Tokyo) 53 455-466 2017	◎			
4 Beniya H, Yonezawa E, Sagae M, Yamagata T	The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH mutation	Neuro Oncol 15 iii223 2017		●	9.0000	Q1
5 山形太郎, 紅屋花子, 寒河江光政	バルスジェットメスをを用いた蝶形骨縁髄膜腫摘出手術-血管温存能を活用して	脳神経外科 42 1019-1025 2018				
6 上山洋一, 米沢恵美子, 山形太郎	脳腫瘍の最新治療法	Convection-enhanced delivery Clinical Neuroscience 31 1186-1187 2017				

[著書]

執筆者名	執筆タイトル	著書名(頁・年)	編者名	出版社
1 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S	The role of IDH1 and IDH2 mutations in malignant gliomas. In : Hayat MA, editor	Tumors of the central nervous system, vol.2 2017		Springer
2 山形太郎	緊急対応を要する脳腫瘍 神経救急診療の進め方	脳神経外科 診療プラ pp167 クティス4 2014		文光堂

[学会発表]

発表者名	発表タイトル	発表学会名(開催地・年)
1 Yamagata T, Higashine O, Sagae M	The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH gene mutation. (Poster)	The 4th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology San Francisco USA. 2017
2 山形太郎, 寒河江光政	神経膠腫発生に関与する遺伝子異常(プレナリーセッション)	第32回脳神経外科コンgres 横浜 2016

記入要領(様式2)

- 1 原著, 症例報告, 総説, 国際学会のProceeding, 著書及び学会発表の順に, 各項目に分けて記載してください。  
なお, 印刷中(In Press)の論文については受理証明書若しくはDOIを添付・併記してください。
- 2 項目ごと英文を先, 和文を後とし, 年代の新しいものから順に記載してください。
- 3 具体的記載について
  - (1) 原著, 症例報告, 総説, 著書及び国際学会のProceedingについては, 原則として記載例にならってください。  
なお, 次の点にも御注意ください。
    - ・雑誌の略誌名は, Index Medicus 及び医学中央雑誌に収載されているものに準じる。
    - ・全著者名を記入し, 本人名には下線を付する。
    - ・主要論文(20編以内)に○印を付け, 日本語で数行以内の概要を記入してください。
    - ・原著(英文), 症例報告(英文), 総説(英文)のうち, 筆頭著者の論文には◎印を, 第2著者の論文には△を, 責任著者の論文には●印を付してください。(筆頭著者かつ責任著者の場合は◎●, 第2著者かつ責任著者の場合は△●)
    - また, 著者名が2番目でも, 共同の筆頭著者である場合も◎を付けてください。
    - ・2022年におけるインパクトファクターのランクがQ1, Q2であるジャーナルの場合は, Q1又はQ2を併せて付してください。
  - (2) 学会発表については, 全国規模の国内学会(地方会・支部会除く)での特別講演, 教育講演, シンポジウム等, 及び国際学会で筆頭者として発表したものに限りま。